

「生活設計とリスクへの備え」

授業展開案（50分）

 公益財団法人 生命保険文化センター

1. 学習のねらい

- ・家庭生活に影響を及ぼすリスクの存在について知る
- ・リスクに備える方法として、公的保障・私的保障についてそれぞれの役割を学ぶ
- ・代表的な私的保障である、預貯金と民間保険について理解を深める

2. 授業の概要（50分）

概要	学習内容とねらい
導入 (10分)	1.生活設計とお金～将来について考えてみよう～ ★人生にはさまざまなライフイベントがあり、それぞれお金が必要であることを認識する
展開① (10分)	2.リスクへの備え～3つの保障を理解しよう～ ★人生には様々なリスクが潜在していることを知る。またリスクに備える方法について学ぶ
展開② (20分)	3.公的保障と私的保障～国からのサポートと自分たちで準備するもの～ ★公的保障の中の社会保障制度について学ぶ ★代表的な私的保障である預貯金と民間保険について、そのしくみと特徴を理解する
まとめ (10分)	4.まとめ ★授業のふりかえりをする

3. 授業形式

- ・パワーポイントと生徒用ワークシートを用いた講義形式

4. 準備物

- ・生徒用ワークシート(WS)
- ・パソコン(パワーポイントが使える環境のもの)
- ・プロジェクター
- ・スクリーン
- ・筆記用具(生徒)

授業時間が50分以上の場合や、授業展開案(50分)の内容を補足したい場合は・・・

50分授業セット

「生活設計とリスクへの備え」

※本教材

生徒用ワークブック「君とみらいとライフプラン」

※教員用手引書・パワーポイントデータもご用意しております



【図記号の説明】

○:スライドタイトル 【WS】ワークシート掲載

★:ポイント ★★★:重要ポイント (Q):発問

5. 授業展開（詳細）

時間	内容	備考	スライド
導入 10分	<p>1.生活設計とお金</p> <p>○将来を考える【WS】穴埋め</p> <p>★問い合わせをしながら自分の将来を連想させる</p> <p>○さまざまなライフコース【WS】</p> <p>★人生を俯瞰したフローチャート図で具体的に将来を想像させる</p> <p>○さまざまなライフイベント</p> <p>★代表的なライフイベントを示し、それぞれお金がかかるることを確認する</p> <p>○ライフイベントにかかる費用①</p> <p>【WS】穴埋め</p> <p>★具体的にどれだけお金がかかるのか三択クイズを使って紹介する</p> <p>○ライフイベントにかかる費用②</p> <p>【WS】穴埋め</p> <p>★自分にもたくさんお金がかかっていることを認識させる</p> <p>○まとめ①【WS】穴埋め</p> <p>★★★生活設計は資金計画とセットで考える 必要があることを理解させる</p>	<p>(Q) 三択クイズは挙手を求める ・金額はあくまで平均であることを補足する</p>	
展開① 10分	<p>2.リスクへの備え</p> <p>○リスクとは何か【WS】書き込み</p> <p>★リスクとは何か、普段の生活の中でどんなリスクがあるかを想像させ、発生すると経済的な損失を被ることを認識させる</p> <p>○生活設計に重大な影響を与えるリスク</p> <p>【WS】穴埋め</p> <p>★リスクの発生データを紹介し、生活設計に重大な影響を与えるリスクも、少なからず発生していることを認識させる</p>	<p>・資金計画を立てていても「予期せぬこと」が起きて計画が狂ってしまうかもしれないと展開する ・想像させた普段の生活の中にいるリスクは WS に書かせる。</p> <p>【用語】 ・リスク：予想できない事態により経済的損失や不利益を被る可能性のこと</p>	

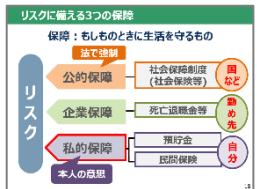
	<p>○リスクに直面した高校生の事例</p> <p>★リスクが他人事や将来のことではなく、 身近なことだと認識させる</p> <p>★★★自分の心がけである程度リスクを避けられ ることを説明する</p> <p>★★★ただし、リスクを避けられず、多くの費用が 発生する可能性もあることを認識させる</p>	<p>(Q.) 損害賠償額は、生徒に答え させてよい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例で言えば、交通ルールを守 っていれば事故は起きなかつた (リスクは避けられた) ・このような避けられないリス クはどうすればよいか?と問 いかけ次スライドに展開する 	<p>リスクに直面した高校生の事例</p> <p>【】</p> <p>損害賠償額は、生徒に答えさせてよい</p> <p>・事例で言えば、交通ルールを守っていれば事故は起きなかつた(リスクは避けられた)</p> <p>・このような避けられないリスクはどうすればよいか?と問い合わせ次スライドに展開する</p> <p>賠償額 → 9,266万円</p>
	<p>○リスクに備える3つの保障【WS】穴埋め</p> <p>★リスクに対する経済的な備えとして、公的 保障、企業保障、私的保障（3つの保障）が あることを説明する</p>	<p>【用語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保障：ある状態が損なわれない ように守るもの（もしものときに 生活を守るもの） 	<p>リスクに備える3つの保障</p> <p>【】</p> <p>保障：もしものときに生活を守るもの</p> <p>→ 公的保障 (社会保険制度)</p> <p>→ 企業保障 (死亡退職金等)</p> <p>→ 私的保障 (預貯金)</p> <p>本人の意思</p>
	<p>○まとめ②【WS】穴埋め</p> <p>★★★リスクに対して3つの保障があること、 公的保障と企業保障で不足する部分を私的 保障で補完することを伝える</p>		<p>まとめ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生活設計と資金計画は、セットで考える必要 がある。 ②リスクに対して3つの保障手段で備えること ができる。 ③公的保障と企業保障で不足する部分を私的 保障で補う。
展開② 20分	<p>3.公的保障と私的保障</p> <p>○社会保障制度の概要【WS】穴埋め</p> <p>★代表的な公的保障である社会保障制度が 4つの柱からなることを説明する</p> <p>★社会保険の保障内容について簡単に説明する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度：国民の安心や生 活の安定を支えるセーフティーネ ット ・社会保障制度のうち、「リスク への備え」としては社会保険が 中心になる ・詳細な説明は避け、社会保険か ら様々な保障を受けられること を伝えられればよい 	<p>社会保障制度の概要</p> <p>【】</p> <p>4柱</p> <p>主な保険料の負担</p> <p>社会保険</p> <p>1.公的医療保険 → 公的医療保険</p> <p>2.公的年金保険 → 公的年金保険</p> <p>3.公的介護保険 → 公的介護保険</p> <p>4.労働者災害补偿保険 → 労働者災害补偿保険</p> <p>雇用保険 → 雇用保険</p>
	<p>○【発展課題】困ったときに受けられる公的保障を考えてみよう【WS】</p> <p>※グループで考えてよい</p> <p>※発展課題として、時間があれば解かせる</p> <p>★それぞれの状況で、どの社会保険から保障が受けられるか 具体的に理解する</p>		<p>困ったときに受けられる公的保障を考えてみよう</p> <p>【】</p> <p>それぞれの状況で、どの社会保険から保障が受けられるか線で結んでみよう</p> <p>状況</p> <p>制度</p> <p>公的医療保険</p> <p>公的年金保険</p> <p>公的介護保険</p> <p>労働者災害補償保険</p> <p>雇用保険</p> <p>17</p>

○リスクに備える3つの保障

★私的保障の代表的なものに預貯金と民間保険があることを再度確認する

○預貯金と民間保険①

★預貯金と民間保険のしくみを理解する

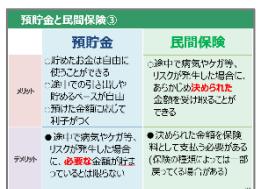
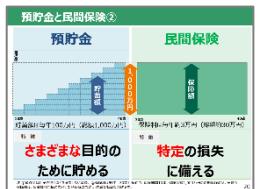


○預貯金と民間保険②、③【WS】穴埋め

★預貯金と民間保険の性質の違い、それぞれのメリット、デメリットについて説明する

★★★預貯金と民間保険どちらがよいか、ではなく
それぞれの特徴を押さえた使い分けが大事であることを認識させる

- ・民間保険とは、保険会社に保険料を支払うことで、リスクが起きたときに保険金を受け取れる契約である



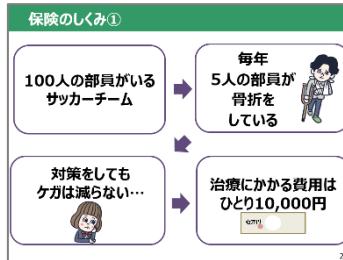
○保険のしくみ①②

★保険のしくみについて単純化した例で説明する

<ストーリー・スクリプト>

- ・100人の部員がいるサッカーチームがある
- ・毎年5人の部員が骨折すると仮定する
- ・対策をしてもケガは減らない
- ・治療には費用がひとり1万円かかる

(次スライド)



○保険のしくみ③

★単純化した例を、一つの図で示し、理解を深める

- ・全員が少しの負担でリスクに備えることができると補足する



○生命保険と損害保険【WS】穴埋め

★民間保険には、生命保険と損害保険があり、保険をかける対象が違うことを説明する



	<p>○ライフステージによる必要な保障の違い【WS】</p> <p>★ライフステージによって必要な保障の金額がかわること、それにより定期的に必要な保障・備えなければならないリスクについて見直す必要があることを説明する。</p> <p>【参考】生活設計と生命保険</p> <p>★生命保険はリスクに応じてさまざまな種類があることを説明する。</p> <p>【参考】足の骨折で入院したら</p> <p>【参考】もしも、亡くなってしまった①</p> <p>【参考】もしも、亡くなってしまった②</p> <p>★具体的な事例を通して公的保障と私的保障の補完関係を理解する</p>	<p>・以下【参考】のスライドについては必要に応じて活用する。</p> <p>【参考】生活設計と生命保険</p> <p>【参考】足の骨折で入院したら</p> <p>【参考】もしも、亡くなってしまった①</p> <p>【参考】もしも、亡くなってしまった②</p> <p>○まとめ③【WS】穴埋め</p> <p>★★★家族構成や年齢などによって必要な保障が異なるため生活設計に応じてリスクへの備えを考える必要があることを説明する。</p>	<p>・もしも、亡くなってしまった① ①は妻がパート、②は妻が正社員、で働いている家庭で、世帯主（夫）が亡くなった場合の事例</p> <p>【参考】まとめ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生活設計と資金計画は、セットで考える必要がある。 ②リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。 ③公的保障と企業保障で不足する部分を私的保障で補う。 ④家族構成や年齢などによって必要な保障は異なる。生活設計に応じて、リスクへの備えを考えよう。
まとめ 10分	<p>4.まとめ</p> <p>○まとめ</p> <p>★学んだ内容のポイントをふりかえる</p>		<p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生活設計と資金計画は、セットで考える必要がある。 ②リスクに対して3つの保障手段で備えることができる。 ③公的保障と企業保障で不足する部分を私的保障で補う。 ④家族構成や年齢などによって必要な保障は異なる。生活設計に応じて、リスクへの備えを考えよう。

本教材は、高等学校家庭科の学習指導要領の項目および教科書の単元に対応しています。

6. 本教材における高等学校家庭科学習指導要領との対応

現行版

平成 21 年 3 月告示 高等学校家庭科学習指導要領「家庭基礎」

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉

ア 青年期の自立と家族・家庭 イ 子どもの発達と保育 ウ 高齢期の生活 エ 共生社会と福祉

(2) 生活の自立及び消費と環境

ア 食事と健康 イ 被服管理と着装 ウ 住居と住環境

エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画

消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解させ、適切な意思決定に基づいて行動できるようになるとともに、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができるようとする。

【学習指導要領解説 家庭編】

生涯を見通した経済の管理や計画については、家計の構造、家計における収支バランスや計画性にとどまらず、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた貯蓄や保険などの資金計画についても関心を持たせる。

(イ) 生涯の経済計画とリスク管理

生活の基盤としての家計管理の重要性や家計と経済のかかわりなどについて理解させ、経済計画とリスク管理の必要性について考えさせる。・・・また、生涯を見通した経済の計画を立てる場合には、事故や病気、失業などの不測の事態や退職後の年金生活なども想定し、生涯賃金や働き方なども含め、リスクにどのように対応したらよいのかについて考えさせる。

オ ライフスタイルと環境 カ 生涯の生活設計

(3) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

7. 本教材にかかる新学習指導要領の改訂点

- ・生活設計の取扱いについて、まとめとしてだけでなく、科目的導入と位置付けること、学ぶ内容と関連付けることとなった。
- ・「将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた対応などについても触れること」について、解説での記載（現行）から、学習指導要領本体への記載（新学習指導要領）へと変わった。
※解説では、リスクへの対応として「預貯金、民間保険」等の資産形成の視点にも触れるようにすることとなっている。

改訂版

平成30年3月告示 高等学校家庭科学習指導要領「家庭基礎」

A 人の一生と家族・家庭及び福祉

- (1) **生涯の生活設計** (2) 青年期の自立と家族 (3) 子供の生活と保育 (4) 高齢期の生活と福祉

(5) **共生社会と福祉**

- ア 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解すること。
イ 家庭や地域及び社会の一員として自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考察すること。

【3 内容の取扱い (1) 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。】

- ウ (5) については自助・共助及び公助の重要性について理解できるよう指導を工夫すること。

【学習指導要領解説 家庭編】

社会的制度、社会福祉の基本的な概念、共に支え合って生きる社会の考え方について理解できるようにする。・・・自立的な生活と、家族や学校、地域の人の支え合いなどの身近な環境、また国や自治体などの制度やサービスなどの制度としての支援体制という支え合いの構造について理解する。加えて、自助・共助及び公助の概念だけでなく、互助も含めたつながりについて理解できるようにする。

- (1) 食生活と健康 (2) 衣生活と健康 (3) 住生活と住環境

C 持続可能な消費生活・環境

(1) **生活における経済の計画**

- ア 家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理について理解すること。
イ 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察すること。

【3 内容の取扱い (2) 内容の範囲や程度について】

- ウ Cの(1)のイについては、将来にわたるリスクを想定して、不測の事態に備えた対応などについても触ること。

【学習指導要領解説 家庭編】

家計管理については、・・・事故や病気、失業などへリスクへの対応が必要であることを取り上げ、預貯金、民間保険、株式、債券、投資信託等の基本的な金融商品の特徴（メリット、デメリット）、資産形成の視点にも触れるようにする。生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性については、・・・また、将来を見通して、事故や病気、失業、災害などの不可避的なリスクや、年金生活へのリスクに備えた経済的準備としての資金計画を具体的な事例を通して考察できるようにする。

- (2) 消費行動と意思決定 (3) 持続可能なライフスタイルと環境

D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動

8. 高等学校家庭科 教科書との対応

教員用手引き「君とみらいとライフプラン」1ページをご参照ください。

□監修

大藪 千穂（岐阜大学教育学部 教授）

□編集協力（50音順）

秋田 一早（大阪府立岸和田高等学校）

池垣 陽子（埼玉県立大宮光陵高等学校）

石坂 美樹（青山学院高等部）

稻葉 ゆかり（大阪府立芥川高等学校）

内田 文子（東京都立三鷹中等教育学校）

川邊 綾子（海城中学高等学校）

小鎧 純子（園田学園高等学校）

田中 和子（奈良県立磯城高等学校）

並川 幸子（京都府立洛北高等学校）

樋府 暁子（国立東京大学教育学部附属中等教育学校）

新村 恭子（東京都立忍岡高等学校）

西田 恵理（大阪府立茨木西高等学校）

三野 直子（東京都立竹早高等学校）

若月 温美（東葉高等学校）

（所属は2017年3月時点）